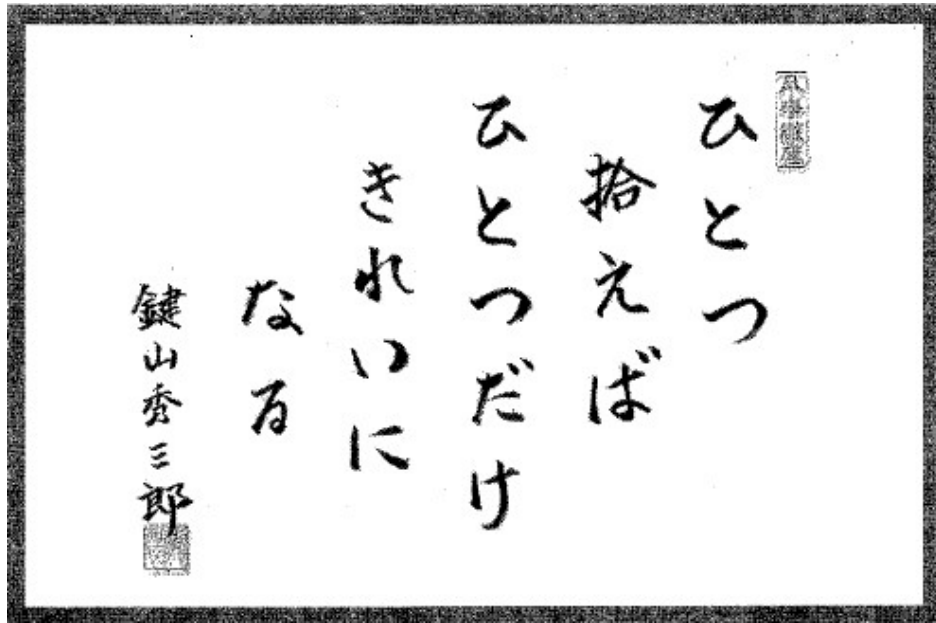


# トイレ掃除 リーダー養成研修会

日時：平成 年 月 日( )

場所：( )



認定NPO法人 日本を美しくする会

平成28年度

日本を美しくする会の方針

日本を美しくする会

会長 田中義人

日本を美しくする会は、平成5年11月に発足して以来、23年目となり、日本全国121ヶ所、海外6ヶ国へと広がってきました。

この間、鍵山秀三郎相談役には、各地への講演、並びに指導と大変なるご尽力をいただきました。しかしながら、昨年、10月半ば、脳梗塞により入院されることとなり、処置が早く大事にはならなくて済むことができました。今年は、まずは静養をしていただくためにも、私達の役割は、今まで以上に大きなものとなってくるものと思っております。

特に、各地での掃除に学ぶ会は勿論ですが、街頭清掃、鍵山塾、企業見学会、便教会、鍵山教師塾、そして、海外へと活動の幅も広がってまいりました。

そこで、昨年からは鍵山掃除道の原点に戻るべく「**学びを深め、正しく広める活動**」へ必要性を感じ、副会長を中心に、ブロック別リーダー研修会を開催し、また、鍵山掃除道を正しく広めるために、鍵山文庫の配布を行ってまいりました。

今年も、より一層、鍵山掃除道を「**深めて、正しく広める活動**」として、ブロック別リーダー研修会の開催と鍵山文庫の配布をしていきたいと思っております。また、便教会、鍵山教師塾、企業見学会に関しましても、開催地の掃除に学ぶ会と共に支援していきます。

また、今年も、日本を美しくする会の活動を継続させるためにも本部事務局体制の見直しと賛助会員募集を行ってまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 今後の方針

1. 日本を美しくする会の活動を、正しく、より広く社会に広めていく
2. 各地掃除に学ぶ会のリーダーを育成していく
3. 鍵山掃除道を経営に活かしている事例を共に学び合い広めていく
4. 海外での鍵山掃除道普及に努める
5. 賛助会員募集に努める

#### 今後の計画

1. 掃除会場を提供して下さった学校へ、鍵山文庫を寄付し、鍵山掃除道を広めていく
2. ブロック別リーダー研修指導を強化する
3. 各ブロックは、年に1回、リーダー研修を開催する
4. 企業見学会を開催し相互交流は計っていく
5. 各地掃除に学ぶ会は、便教会、鍵山教師塾開催に協力支援する
6. 海外での開催要請には参加を募り、積極的に協力していく
7. 賛助会員からの支援目標を一千万円とする
8. 「未来へのメッセージ」を伝えていく

# リーダー研修会の流れ

## ※リーダー研修担当

田中 義人、千種 敏夫、利 哲雄、白鳥 宏明、清水 徹  
その他(敬称略)

## ※開催担当者が用意するもの

- ・パソコン ・プロジェクター ・スクリーン
- ・プログラム (レジュメ) ・掃除道具

- ① ブロック長 (代理) のごあいさつ (約 5 分)
- ② リーダー研修担当のごあいさつ (約 5 分)
- ③ DVDの観賞 (約 45 分)
- ④ 質疑応答 (約 45 分)
- ⑤ 研修担当より特に気をつけてほしいこと (約 15 分)

- 
- ① 開会式
  - ② 諸注意
- } (約 15 分)

- ③ 実習 (1 時間 30 分 ~ 2 時間)
- ④ 所感及び講評 (約 10 分)
- ⑤ 連絡事項 (約 5 分)
- ⑥ 閉会

※上記はあくまでも雛形です。

## ～大会を始める前に～

### <掃除リーダーの心得>

参加者のよいところに光をあて、間違いを指摘したり、否定語を使うことなく、本人の“気付き”を大切にします。先回りをして、掃除の効果、功德を押し付けないことも大切です。分からないことは、一緒になって考えましょう。(ポケットブックより)

- ① 掃除メンバーの満足度は、リーダーによって決まる。  
みんなで楽しくを心掛けましょう!! リーダーの初体験を思い出しましょう。
- ② すべて善なる心にて行方。メンバーを認め全て受け入れましょう。  
叱ったり指摘したりしない。誉め、認め、本人の気付きを大切にする。  
掃除途中、変化した良い点を認めてあげる。
- ③ 掃除の前後の状況を肌で感じられるように、前、終の見学は必ず行方。  
心の変化に気づいてもらいましょう。
- ④ 掃除のやり方は、大きく落として、細かく入るのがコツ。  
上から下へは基本です。
- ⑤ 後片付けが良いと、次回の人に不愉快な感じを与えない。  
道具の洗浄の仕方をしっかりと教える。  
段取りの大切さも伝える。
- ⑥ 素直な心  
汚い物を汚いと言える素直な心。誰もが綺麗は好き。
- ⑦ 時間を守る  
限られた時間の中でいかに効率よく作業を進められ、参加した人に感動や満足感を与える事が出来るか。
- ⑧ 怪我について  
トイレの中の金属部分(ドア上部のステンレス、ドアノブ、蝶番(ちょうつがい)、小便器の金属部分)で怪我をする可能性があります。怪我をしたら楽しいはずの掃除の時間が一瞬にしてダメになります。怪我をしないように注意を促してください。

### <感染症対策>

- ① 素手を強要しない。特に素足は危険を伴うので必ずビーチサンダルか長靴を使用する。  
→忘れた方がいた場合は、予備を準備します。(10~20足)  
手や指をけがしている場合は、必ず手袋を使用してもら方。体調の悪い方は実習させない。  
→受付前に『感染症対策コーナー』を設置します。  
ゴム手袋、消毒液、マスク、うがい薬、体温計など準備します。
- ② 開会式前のプロテクト X1 の摺りこみ、特に、指と指の間、爪先を念入りにしてもら方。(プロテクト X1 は掃除中でも必要に応じて使用してもら方。)  
→開会式 10 分前に司会よりプロテクト X1 の説明をアナウンスします。その後にサブリーダーが班の方の手につけてもら方。
- ③ 掃除終了後と道具片付け後、石鹸での手洗いと消毒を必ず実行する。
- ④ 万が一のことを考えて、レクリエーション保険をかけるようにしてもら方。

#### \*精神衛生面も考慮しながら実習を願います。

- ・水飲み場で掃除道具を洗わない
- ・昼食の際、トイレ内で使用した長靴等は食事場所に持ち込まないよう指示する。
- ・掃除道具を使用する前に、手洗い場用と便器用に区分してから班の方に渡すよう願います。  
→便器を磨いたものと水飲み場(蛇口等)を磨いたものを混ぜないようにする為。

## リーダーミーティング用資料

●：リーダー ●：サブリーダー

### 掃除手順（参考例）

#### ○集合時出欠確認

##### 1. 体育館

- サブリーダーが出欠をとります。参加者の背中に名前のシールを貼るとよい。  
(何回目の参加かを確認すること)
- 司会者からプロテクト X1 の使用方法の説明が終わり次第、参加者にプロテクト X1 をワンプッシュ（大豆サイズ）量を手に付ける。  
最初爪先にもみこむように塗布し、次に指と指の間、その後手のひら全体にいきわたらせるようにすると良い。（手のひら全体に十分いきわたる量なので使いすぎない事）  
事前にトイレを済ませておくように促す。
- 開会式は、リーダー・サブリーダー共に最前列に座る。  
閉会式は、リーダーは最後尾に、サブリーダーは最前列に座る。

#### ○実施場所移動後

##### 2. 道具を並べる

- ・リーダーが参加者の手荷物の置き場所を指示し整然と並べる。
- ・サブリーダーが道具を並べる。
  - ・バスタオルを縦長に3ツ折りにして入口に敷く。（足拭き用、下に滑り止めマットは効果的）
  - ・ビニールシートを入口に向かい左側（又は右側）に広げて敷き、その上に使用する順に並べる。（ポケットブック参照のこと）
  - ・参加回数が多い方がいる場合は手伝ってもらおう（次期リーダー候補になってもらう）
- ・リーダーは学校の道具、備品置き用のビニールシートを廊下の反対側に敷き、全員に指示してトイレ内にある掃除用具・備品を整然と並べる。（元の場所に必ず戻せるよう覚えておくことが大切）
  - ・この間、掃除前のトイレの状況を見てもらい、終了時との違いを感じてもらえるように努める。
  - ・貼り紙も元の場所に戻せるように丁寧にはがす。
  - ・長靴での移動エリアを決めておく。
  - ・水漉担当になった人は、空バケツにセットされた水漉、釣鐘を持ちリーダーに指示された洗い場へ移動する。（道具は洗い場にセット済みにし、道具を持たずに移動したほうが良い）

## 作業開始事前作業として

- リーダーは水漉、釣鐘をはずして空バケツに入れる。この際に、水につけたりして濡らさぬように注意する
- 男子小便器の汚れが強いときは、先に汚れを取り除いておく。(先にクエン酸につけておく)
- 感染症対策の為、直接触らずにリングブラシ等で汚れを取り除く。
- 主として男子が蛍光灯、カバー、換気扇を取り外し、(3名程度)それを他の人が手分けして洗面台又は流し場で拭き掃除をする。・注)脚立の最上段には上らない。
- 蛍光灯を最優先作業として指示する。  
(掃除開始に電気をつけて明るいところで行う、暗いと汚れが見えない。)  
(流し台で洗う時、タオルをしいて行う。)
- 便器の囲い、窓枠のホコリなど上のものから長ほうきや刷毛をつかい、全部掃き落とした後に床を丁寧に掃き取る。  
(役割の目安として、  
換気扇、蛍光灯の取り付け場の掃除、  
蛍光灯、換気扇本体の拭き掃除  
床、窓等の掃き掃除  
学校の道具の水洗い拭き掃除 など)
- 長さ1m程のバケツ用ホースを手洗いの蛇口に固定しておくが良い。
- 蛍光灯を取り付け電気をつける。(カバーは最後に戻しても良い)
- 小バケツに水(1/3)を汲み、1人に1つ程度わたるように準備する。

## 3. 自己紹介

- 簡単に所属、社名、氏名だけにとどめ、最後に「よろしくお願ひします」全員でと云うと気持ちが整う。

## 4. リーダー挨拶

- リーダーが心構えなどを簡単に話す。
- ここまでにサブリーダーは道具並べを終了する様にする。

## 5. 道具の説明

- 原則としてサブリーダーが行う。(全員、腰を下ろした方が良い。)  
主に使用する順番でスポンジ・カネヨン・ナイロンタワシ・サンドメッシュ・タワシにとどめ、その他はその都度現場で実践にて説明する。

## 6. 担当割り当て

- トイレ小、大、水漉、手洗い場等に参加者を割り当てる。  
希望があれば希望場所に、なければ初参加の人を優先してトイレに割り当てる。

以上、NO. 3～NO. 6は、約5分程度でまとめるようにする。  
素手・素足は推奨しない。(足は長靴、ビーチサンダル等を履く。)

\*\*\* 床をぬらさないように注意して作業する \*\*\*

# さあ始めよう！

## 作業開始

### 1人1人に渡すもの

- 以下の3点をセットにして渡す。

①スポンジ 1ケ

②ナイロンタワシ 1枚

③サンドメッシュ新しいもの 1枚 (古いもの 1枚)

☆男女便器、手洗い場とも、掃除する場所はまず最初に水を流す。

### 排水溝

- 素早く排水溝の掃除をする。

(掃除終了まで開けておき、**排水口メッシュ蓋**を置いておくと良い。)

### ☆カネヨンの使い方

- カネオンを便器に小指の爪程度の大きさで盛り付け、少量ずつとって使うように指導する。  
使いすぎないように注意する。

### ☆バケツの水の使い方

- これから洗うところの汚れをとるためスポンジに少量の水をしみこませ、かるく搾り散水し拭き上げる。

ナイロンタワシ、サンドメッシュを利用する際にはバケツの水につけて掃除する。

一人1個、6ℓバケツを用意する。

### 小便器

- 実践してみせる。

- ・便器の底に残った水をスポンジで押し込むか吸い取りバケツに汲みだす。
- ・便器全体をスポンジで洗う。その時スポンジと逆の片手は体重をかけられる所をしっかりと思い切って持つ又は掴む。
- ・汚れの状態を見て、ナイロンタワシ、又はサンドメッシュで汚れを落とす。  
便器の汚れは上から下に縦方向についているので、その汚れに沿って作業する。  
力が必要な場合はコルクを利用する。

**ナイロンタワシ、サンドメッシュは必ず水につけて利用する。**

- ・便器上部の散水口の汚れはサンドメッシュを細く丸めたり、歯ブラシを使ったり工夫を凝らし掃除する。

### 大便器

- 実践して見せる

- ・落とし込み部分に溜まった水を、スポンジで下に押し込むようにして除去し、残った水はスポンジで吸い取りバケツに汲みだす。
- ・スポンジで大きな汚れを落とす。その時スポンジと逆の片手は体重をかけられる所に手をつく、又は、掴む。
- ・ナイロンタワシ、サンドメッシュを使ってみる。
- ・ナイロンタワシ、サンドメッシュ利用の際は必ず水をつけて使う。

- ・落ちにくい汚れはカネオンを使用するので、便器もしくは床に小指の爪程度の大きさで盛り

付け、少量ずつ使っていく。

- ・便器の水返しなどの見えにくい部分は、素手でさわり、感触で汚れを見つけて、きめ細かな掃除を心がける。シュッシュという音がするまで磨くようにする。

#### つり鐘・水渡し

- 担当をすぐに決めて、決められた洗い場に案内する。

☆つり鐘（水に濡らさないで実施）

- ・つり鐘は外に持ち出して、新聞紙の上にゴムマットを敷き、スクレイパーで大きな汚れと、錆を落とす。
- ・その後、ワイヤーブラシで残った汚れを磨きおとす。
- ・それでも落ちない汚れはヤスリを使い磨きあげる。
- ・掃除が終了したら、つり鐘には錆防止スプレー（マルチスプレー）を塗布すると良い。また、サビ、汚れ等は新聞紙にくるみゴミ袋に捨てる。

☆水渡し

- ・つり鐘と同様、外に持ち出して、新聞紙の上にゴムマットを敷き、その上で、スクレイパーやセラミックスクレイパーで大きな汚れをそぎ落とす。
- ・その後・ドライバ・ヤスリ等で細部の尿石や汚れをとり除く。
- ・最後にナイロンタワシ・サンドメッシュ等を使い磨きあげる。  
（ドライバは振動を与えたり、尿石を削りだしたりして利用するが、使用する角度、強さに注意し、水渡しを傷をつけないように注意指導する）
- ・作業終了後、尿石等は使った新聞紙にくるみゴミ袋に捨てる。  
（つり鐘・水渡し洗い場にゴミ袋を用意しておきます。）

#### 蛇口、便器の金属（メッキ）部分

- 実践してみせる。
- ナイロンタオルを準備しておく。

※サンドメッシュ、ナイロンタワシは一切使わないこと。（キズが付いたり錆が出る為）

- ・スポンジ
- ・ハブラシ+カネヨン
- ・ナイロンタオル+カネヨン

ナイロンタオルを広げ、その中央にカネヨンを少量つける。それを三つ折り状態にし、金具の所に一回転巻きつけ、タオルの両端を手でもってしごく。

#### 手洗い場（陶器製）

- 実践してみせる。
- ・スポンジ
- ・ナイロンタワシ
- ・サンドメッシュ
- ・ハブラシ+カネヨン（排水部分、金属との接着部）  
※金属部にはサンドメッシュ、ナイロンタワシは一切使用しないこと。
- ・排水口の流れが悪い場合にはつまりを取り除くためにラバーカップを利用する。
- ・溢れ防止口をタオル等でふさぎ水を溜めてラバーカップで吸い出すように引っ張る。

注）ラバーカップを当て空気を抜く際には押し込まないように注意する。

注）ラバーカップの枝を掴む手の使い方に注意する。



## 手洗い場（ステンレス製）

- 実践してみせる。
    - ・ スポンジ
    - ・ スポンジ+カネヨン
    - ・ 面積の広い所はナイロンタオル+カネヨン
    - ・ 排水部等細かいところはハブラシ+カネヨン
- ※サンドメッシュ、ナイロンタワシは一切使わないこと。

## ドア、大便室のブース板

- 実践してみせる。
    - ・ メラミン板（硬質）は、スポンジ又はナイロンタワシに洗剤をつけて洗う。
    - ・ ポリ合板（軟質）は、スポンジに洗剤をつけて洗う。
    - ・ セロテープなどコビリついているものは、セラミックスクレーパー等で削ぎ落とす。（事前に水をつけておくと良い。）
- ※タワシ、サンドメッシュなどは一切使わないこと。
- 注）掃除の対象物よりもできるだけ柔らかい掃除道具を使うことに心がける。

## タイル壁の掃除

- 実践してみせる。
  - バケツにきれいな水を準備しておく。（便器で使ったスポンジはよく洗って利用）
    - ・ スポンジで壁面を洗う。（縦・横に動かし広い面を効率的に使う）
    - ・ 汚れが落ちない場合は、スポンジに小豆程度の大きさのカネヨンを3箇所につけ掃除する。
    - ・ それでも落ちない汚れはナイロンタワシ・サンドメッシュで落とす。
    - ・ 塗料、テープなどの汚れはセラミックスクレーパー等を利用してそぎ落とす。
- 注）塗装壁面のときは、良く絞ったタオルでの拭き掃除とする。

## 床の掃除

- 実践してみせる。
- 不要な道具を種別にバケツに集めておく。
  - ・ リーダーがカネヨンを少量ずつ間隔をおいて床に置き、タワシをつかってタイルに円を画くように泡立たせてしっかりと磨く。（タイルが円形の場合は直線的な動作でもよい。溝を削らないための工夫。）
  - ・ そのとき片方の掌を必ずしっかり床につけるようにする。
  - ・ 排水口に向かって背を向けての動作に心がける。

## ホースでの水流し

- 実践してみせる。（説明だけして、作業はメンバーに代わってもらっても良い。）
  - ・ 最初に蛇口付近の壁から洗い、一周して戻ってくるように水を流す。
  - ・ 洗剤をよく落とすようにする。
  - ・ ホースは壁に真横にくっつけて少しホースの口をつぶすような感じで角度をつけて放水する。（斜め45度）  
（離して水を流したときに、どのくらい非効率、まわりに迷惑になるかを理解する）
  - ・ 次に床を、排水口に向けてまわりから押し流すようにして流し込む。

## ホースの巻き取り

- 実践してみせる。
  - ・ホースの先端を排水口から遠いところに置く。
  - ・栓を外す。
  - ・タオルを使い、ホースを拭きながらヨリを戻し、円形に（直径 35cm 位）して束ねる。  
（ホースを巻き取るときはヨリを戻す人、拭く人、ホースの先端を持つ人の 3 人でやるとよい。）

## 道具の洗い・片づけ

- 人数を洗い担当・拭き上げ担当に分かれる。実践してみせる。
  - バケツ（10ℓ）を 3 つ準備する。
    - （バケツの汚水処理が必要な場合は排水口に流す。  
排水口がない場合大便器を 1 つ決めてそこに汚水を流す。）
    - ・バケツ 3 個に水を汲み順番にすすいでいく。
    - ・ドライバ、ヤスリなどの金物、小物から洗い、泡の出にくいブラシ関係、続いてサンドメッシュ、ナイロンタワシ等を洗い最後にナイロンタオル、スポンジ、タワシを洗う。（忘れずにカネヨンの蓋も洗う。）
    - ・次のバケツに渡す際に、よく泡を取ってからバケツの中へ入れる事。  
特にスポンジの洗いは注意する。（搾ったまま次のバケツへ入れる）  
洗い終わった道具、良く水気を切り、濡れている道具はバケツに入れ、それ以外の道具は数を確認しながらボックスへ戻す。  
（バケツ：スポンジ・ナイロンタワシ・タワシ・タオルなど）
    - ・道具の名称、使わなかった道具の使い方など、説明の場にもする。  
ミューズ（石鹼）と消毒液は手洗い場に準備しておく。  
洗い終わった後のバケツの水を排水口から遠い所へ持っていき、そこから床に流す。
- 注）掃除道具を始め、物を大切に扱いましょう。決して放り投げたりしないこと。**

## 壁・床の拭き上げ

- 実践してみせる。
- タオルを準備する。
  - ・全員に経験してもらい、必ず覚えてもらう。
  - ・手に持てる大きさまでたたみ、壁の上から下に向かって一方通行で拭きとる。  
（床の 5cm 手前くらいで止める事）
  - ・床は濡れタオルをよく絞って、壁際に広げて敷き、叩き床に密着させ、両手で両先端をつまみ、そのままの状態の後ずさりしながらタオルの中心が排水口に被さるように引く。タオルの中心を掴み、排水口の上に持ち上げる（2 ツ折り）、さらにこれを 2 ツ折りにしてしっかり絞る。（関節を利用した絞り方、絞った後のタオルの状態がどうなっているかをたたみ方、絞り方を経験して感じてもらう事。）
  - ・風起こしの際に壁の拭き残し部分を拭くようにする。

### バケツを拭く・タオルを洗う（バケツの重ね方を学ぶ）

- 実践してみせる。
  - ・使用したタオルをバケツ 2,3 個に水を用意し皆で洗う。バケツを拭き上げ、取っ手と同じ方向になるように重ねる。
  - ・このときバケツを 1 つ、タオルを 2,3 数枚残しておく。（後で歩いた範囲を掃除するため）自分で使った長靴を拭く。（靴底にも注意）

### 水漉し、釣鐘のセット

- 水漉しを水漉しフックを使ってセットする。（落として割らないように注意）  
釣鐘も忘れずにセットする。

### 学校用具を戻す

- 実践してみせる。
  - ・学校の用具は使用・不使用にかかわらず、雑巾まで洗い上げて元の場所に返納する。特に雑巾は掃除に学ぶ会のタオルに混じらないように注意する。  
学校の掲示物を貼り直す時、セロテープを輪にして両面テープの様に使う。

### 排水口の目皿を閉める ～最初に開け、最後に締める～

- このとき、足跡等をしっかりふき掃除する。排水目皿の向きに注意。

### 終礼の言葉

- 参加者全員に一言ずつ感想を発表してもらおう。今後のために一言、良く出来た点、やり残した点を見つけて話す。
  - ・その後、ミューズ（石鹼）、アルコール液で手洗い消毒をする。

### 最後に

- きれいな手でトイレットペーパーを三角折りにする。
- 三角折は誰がやっても同じ形になり、きれいに見える折り方にする。  
（この時、何故三角折をするのかを参加者に説明するとよい。）
- 全員で自分たちが仕上げたトイレをチェックする。

### 集合会場へ

- サブリーダーが先導し昼食・閉会式会場へ移動する。  
（使用した道具は分担して集合場所の所定の場所にキチンと返す。放り投げたりしない。）  
掃除道具を戻し終わったら、再度手洗い・消毒をする。
- リーダーは忘れ物、施錠、消灯、貼紙の確認と手洗い場、廊下等の状態を確認し拭き上げ後始末をして集合会場へ移動する。

## 注意事項

リーダー、サブリーダーは、実習中は以下のことに目配りをしてください。

- 1) 使った掃除道具が散乱していないか
- 2) 水を無駄に使っていないか（ホースでの使用は最小限とするよう心がける）
- 3) 用具の使い方問題はないか  
（例えば、金属の部分にサンドメッシュ使用していないか。）
- 4) 掃除中、掃除道具の整理整頓をしているか。大切に扱っているか。
- 5) 特に初めての参加者の指導をしっかり行っているか。
- 6) 途中経過、時間配分、進捗状況を伝えながら進めているか。
- 7) 最後の点検

- ① トイレtpペーパーの予備の置き方と三角折
- ② 床の水分残しはないか
- ③ 忘れ物の確認、消灯、施錠、貼紙

等に気を配る